|        | 財務会計入  | 力事務業務            |
|--------|--|------------------|
|        | 運用_ I -1   | 運用手順書            |
| 対象物品   | 消耗品(10万円未満の備品<br>少額備品(10万円以上50万<br>修繕<br>診療材料<br>被服<br>医薬品<br>検査試薬<br>書籍<br>印刷<br>実習必要経費 | を含む)<br>「円未満の備品) |
| 入力処理伝票 | 債務計上票  |                  |

| 版数  | 第1版        |
|-----|------------|
| 作成日 | 2024年6月20日 |
| 更新日 | 2024年8月15日 |

[ 目次 ]

| < 1 > | 概要      | • | • | <br>• | ••• | • | • | • | • | • | • | • | <br>• | • | • | • | • | • | • | • | • | • • | • | • | • | • | • | • | • | • | . P | '1 |
|-------|---------|---|---|-------|-----|---|---|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|-----|----|
| <2>   | 業務フロー . | • | • | <br>• |     | • | • | • | • | • | • | • | <br>• | • | • | • | • | • | • | • | • |     | • | • |   | • | • | • | • | • | . P | 2  |
| <3>   | 運用事務手順  |   |   |       |     |   |   |   |   |   |   | • |       |   |   |   |   |   |   |   | • |     |   |   |   | • |   |   |   |   | . P | 3  |

| 时怒今計入力車怒業怒 | <b>海田</b> 千順 |
|------------|--------------|
| 别物云可入力争物未物 | 建用于限         |

## <1> 概要

物品調達依頼票Bにより、各原課から物品調達の依頼があり、調達係が業者へ発注した物品等の債務を計上します。 1契約あたり50万円未満の調達が対象となります。

| 財源       | 公的研究費以外の財源  |
|----------|---|
| 対象物品     | <ul> <li>以下の1契約あたり50万円未満の物品</li> <li>・消耗品(電池、コピー用紙、10万円未満の物品など)</li> <li>・少額備品(登録が必要な10万円以上50万円未満の備品)</li> <li>・診療材料(ビーカー、注射の針、手術用の器材、器具など)</li> <li>・医薬品</li> <li>・検査試薬</li> <li>・被服(白衣、看護師の服・靴、患者の検査着など)</li> <li>・印刷(伝票原紙、ポスターなど)</li> <li>・書籍(図書館の図書、病院内の図書など)</li> <li>・修繕(医療機器の修繕など)</li> </ul> |
| 依頼対象部署   | <ul> <li>・法人本部</li> <li>・大学事務局</li> <li>・附属病院 教室・医局以外</li> </ul>  |
| 提出書類     | 絶対必要書類・物品調達依頼票B<br>・納品書(修繕の場合、作業報告書でも可)<br>・請求書<br>少額備品必要書類・B伝票備品登録票<br>・物品のカタログ等<br>提出される場合がある書類・物品発注書(依頼伝票Bの複写用紙)<br>・見積書   |
| 入力処理(伝票) |   |
| 支払方法     | 口座振込  |
| 支払日      | 納品月の翌月末日(月の最終開庁日)   |
| 後処理      | 備品登録  |

※運用の共通作業について

入力依頼表紙や入力依頼受付管理簿の入力などの共通作業は、本手順書に記載していません。 共通作業は、運用手順No.【運用\_共通】運用手順書を参照して実施してください。

| <b>運用_I -1</b> 財務会計2 | 入力事務業務 | 運用手順 |
|----------------------|--------|------|
|----------------------|--------|------|

<2> 業務フロー



| 運用 Ⅰ −1 | 財務会計入力事務業務 | 運用手順 |
|---------|------------|------|
|         |            |      |

<3> 運用事務手順

- (1) 各種書類(伝票等)の受付
  - 準備できた伝票等書類は、随時、受付ファイルBOXに経理課 調達係の担当職員からクリアファイルに入れて 提出されます。入力センターの責任者は受付処理後、入力作業者に入力依頼します。

② 入力作業者は1契約(1束)あたり、下記の書類が揃っているか確認します。
 書類が不足している場合は、経理課調達係の担当職員に確認します。

a.d.e.が必須書類となります。

- <u>a. 物品調達依頼票B</u>
- b. 見積書※1
- c. 物品発注書 (依頼伝票Bの複写用紙)※2
- <u>d.</u> 納品書(修繕の場合、作業報告書でも可)
- <u>e.</u> 請求書
- f. B伝票備品登録票※3
- g. 物品のカタログ等※4

※1 提出しない場合があります。ない場合、担当職員に確認する必要はありません。

※2 医薬品・検査試薬の場合、提出はありません。また、その他物品の場合でも提出がない場合が あります。ない場合、担当職員に確認する必要はありません。

※3 備品登録が必要な物品の場合、提出があります。(通し番号E)
 支払処理上必須の書類ではありませんが、資産情報入力時に必要な設置場所・使用者等の情報や備品登録の要否が記載されています。
 ※4 備品登録が必要の場合、提出があります。(通し番号E)

(2) 各種書類(伝票等)の記入内容のチェック

- ① 物品調達依頼票Bに、手書きで「予算番号」、「通し番号」が記入されているか確認します。
  - 予算番号:数値に丸囲み(例:④)
  - ・通し番号:アルファベット大文字&連番(3桁)



※通し番号について
 ・消耗品の場合、連番のみの記入です。
 ・医薬品、検査試薬、印刷、図書の場合、通し番号の記入はありません。

- ② 物品調達依頼票Bと納品書、請求書を比較し、下記の内容に相違ないか整合性チェックを行います。
  - ・品名、規格等の確認
  - 数量の確認
  - ・調達の「単価」「金額」の確認。金額は、合計額も確認すること。

※不備(疑問点)がある場合
 不備(疑問点)がある項目に「青付箋」を張り、不備(疑問点)の内容、記入者氏名(印)を
 記入し、入力センター責任者に確認します。
 ⇒問題が解決した場合:青付箋を剥がして入力作業を継続します。
 ⇒問題が解決しない場合:入力センター責任者は、B伝票(「調達決定」枠)に押印している
 経理課の担当職員に確認します。必要に応じて、書類(クリアファイル)は返却します。

【物品調達依頼票サンプル】

サンプルに個人情報等を含むため非公開

【B伝票備品登録票サンプル】

サンプルに個人情報等を含むため非公開

## **運用\_I -1** 財務会計入力事務業務 運用手順

- (3) 財務会計システム 債務計上票入力
  - 財務会計システムの「債務計上入力」画面にて、債務計上の情報を登録し、債務計上票を印刷します。
     詳細の操作手順、入力内容については、下記の手順書を参照してください。

財務会計システムの共通基本操作:入力手順No.【入力\_基本】財務会計システム 基本操作手順書 債務計上入力の詳細登録内容:入力手順No.【入力\_I-1】入力手順書

- (4) 債務計上票 入力内容のチェック
  - ① 入力作業者は、印刷した「債務計上票」と依頼表B、請求書等と比較して、入力内容に誤りがないか チェックします。
    - ・「債務計上票」のチェックした項目に<u>黒ペン</u>で「↓」を記入します。
    - ・「依頼票B」「請求書」「債務計上票」の単価、合計金額に<u>黄色の蛍光ペン</u>でラインを引きます。
       ⇒次のチェック者にチェックした金額等、わかりやすく(強調)するため
  - ② 入力内容に問題なければ、「債務計上票」右上の担当者枠に押印します。
     ⇒入力に誤りがある場合は、修正処理をして、「債務計上票」を再出力し、再度、チェックします。
  - ③「債務計上票」を一番上にして(入力依頼表紙の次に挟む)、書類全てをクリップで止めます。 クリアファイルに入れて、次の確認作業者に渡します。 書類は「入力依頼表紙」-「債務計上票」-「請求書」-「納品書」-「見積書」-「その他添付資料(カタログなど)」-「B伝票備品登録票」-「物品調達依頼票B」-「物品発注書」 の順に留めます。
  - ④ 確認作業者は、「債務計上票」と依頼表B、請求書などと比較して、入力内容に誤りがないかチェック します。B伝票備品登録票の「備品登録あり」に√がある場合、備品登録した入力内容を確認します。
    - ・「債務計上票」のチェックした項目に赤ペンで「✔」を記入します。
  - ⑤ 入力内容に問題なければ、「債務計上票」右上の担当者の左隣の枠に押印します。 クリアファイルに書類を戻し、確定作業者(入力センターの責任者)に渡します。

※入力誤りがある場合、入力作業者に差戻しします。 誤っている項目に「ピンク付箋」を張り、誤っている内容、記入者氏名(印)を記入し、入力作業者に書類を差戻しします。 入力作業者は、誤り分から優先して修正作業、確認作業を実施します。 入力確認者は修正内容確認後、ピンク付箋は外しておきます。

- (5) 債務計上票 確定処理
  - ① 確定作業者は、「債務計上票」と依頼表B、請求書等と比較して、入力内容に誤りがないかチェックします。 (債務計上票に「✓」の記入は不要)

※入力誤りがある場合、入力作業者に差戻しします。 誤っている項目に「ピンク付箋」を張り、誤っている内容、記入者氏名(印)を記入し、入力作業者に書類を差戻しします。 入力作業者、確認作業者は、誤り分から優先して修正作業、確認作業を実施します。 責任者は修正内容確認後、ピンク付箋は外しておきます。

| <b>運用_ I ー1</b> 財務会計入力事務業務 運用手順 |
|---------------------------------|
|---------------------------------|

② 入力内容に問題なければ、債務計上票の確定処理を実施します。 確定処理の詳細の操作手順、入力内容については、下記の手順書を参照してください。

確定処理の操作詳細手順:入力手順No.「入力\_I-1」

③ 確定処理後、「債務計上票」右上の確定済の枠に押印します。 クリアファイルに書類を戻し、「ファイリング待ちファイルBOX」にクリアファイルを入れます。

④資産管理区分が「少額備品」となっている債務計上票及び添付書類を全てコピーし、コピーを 備品登録担当者に渡します。

(6) 書類のファイリング

- クリアファイルから書類を取り出します。ピンク付箋が残っていないか確認し、あれば外しておきます。 また、「入力依頼表紙」も外します。
- ② 書類の順番を確認します。 書類は「入力依頼表紙」-「債務計上票」-「請求書」-「納品書」-「物品調達依頼票B」-「物品発注書」-「見積書」-「B伝票備品登録票」-「その他添付資料(カタログなど)」の順です。
- ③ ホッチキスで書類を綴じます。
- ④ 書類のファイリング
  - ・物品種別、支払日ごとにファイリングします。
     (支払日は月末日で同じなので、月単位で1つのチューブファイルを用意することになります)
     ・業者名の五十音、債務管理No.の昇順でファイリングします。
    - (限制) 目前(限制) 目前(R)
      - あいうえお製薬 債務管理No.003
      - かきくけこ薬局 債務管理No.002
      - かきくけこ薬局 債務管理No.001

←一番下になるようにファイリングする

・新規のチューブファイルに綴じる場合は、チューブファイルの背表紙を作成します。

「対象年度」債務計上票 物品種別 支払日」

例:「令和6年度 債務計上票 ⑦修繕 5/30」

以 上